

1. 金融機能の更なる発揮を促し、持続的な成長に貢献する

金融機能の向上を促す施策を通じて、企業・経済の持続的な成長と国民の安定的な資産形成に貢献する。ブロックチェーンやAI等のデジタル技術については、利用者保護等を図りつつ、これらを用いた金融サービスの変革を促す。

- 地域の持続的な発展を実現するため、地域経済に貢献する力（＝地域金融力）を発揮するための取組等を検討・実施するとともに、その主たる担い手である地域金融機関が適切な経営管理・業務運営を確保しつつ、その役割を十分に発揮できるための環境整備も併せて検討し、関連施策をパッケージ化した「地域金融力強化プラン」を年内に策定する。
- 資産運用立国の推進と企業価値の向上のため、以下の取組を進める。
 - ・ コーポレートガバナンス改革の推進、企業と投資家との間での緊張感ある信頼関係に基づく対話の促進
 - ・ 市場を通じた企業への成長資金・リスクマネー供給の強化
 - ・ 持続可能な経済社会の実現に向けたサステナブルファイナンスの推進
 - ・ NISAの一層の充実・金融経済教育の普及といった、家計の安定的な資産形成の支援の更なる推進
 - ・ 顧客本位の業務運営の確保に向けた取組の推進
 - ・ 資産運用サービスの高度化、アセットオーナーの機能向上
 - ・ 「Japan Weeks」の開催を含めた国内外への積極的な情報発信
- デジタル技術を用いた金融サービスの変革へ対応するため、暗号資産に関する制度整備や、円建てステーブルコインの活用を含めた決済の高度化・効率化に向けた取組や健全かつ効果的なAIの利活用の後押しを行う。

2. 金融システムの安定性や公正性・安全性への信頼を確保する

金融機関における財務の健全性や不正の防止を含めた適切な業務運営及びそれを支えるリスク管理態勢を確保するため、実効性ある監督・検査を実施し、金融システムの安定性や公正性・安全性への信頼を確保する。

- 各金融機関の財務の健全性や業務の適切性、これらを確保するための経営管理態勢について、データ分析やヒアリング等の手法を通じて確認し、必要な対応を促す。
- 従来の監督各課と横断モニタリング部局を、より一体的・効果的に運用するため構築した新たな体制のもと、対応すべき課題に優先順位を付け、計画的な監督・検査を実施する。
- マネロン・サイバー等、幅広いリスクや課題に対応するための施策を、関係省庁・業界団体と連携して実施する。
- 大手金融グループや、通信・流通等を母体とするグループに対し、グループ全体を俯瞰した監督・検査を実施する。
- 協同組織金融機関の経営管理と業務運営の適切性について、早期に課題を発見し、的確な対応を行う。
- 金融機関や金融市場の公正性・安全性に対する信頼を確保するための以下の取組等を行う。
 - ・ 特殊詐欺・証券口座への不正アクセス等、金融犯罪の被害防止に向けた官民一体・省庁横断での取組の推進
 - ・ 証券規制違反事案への抑止力を高めるための規制強化
 - ・ 保険業界の信頼の回復と健全な発展に向けた制度整備・監督体制強化

3. 国民への貢献のために常に進化し続ける組織をつくる

質の高い金融行政サービスを提供し続けていくために、金融庁のバージョンアップを図っていく。

- 上記1. 2.の施策を推進していくために、監督局を2局体制とし、「資産運用・保険監督局」及び「銀行・証券監督局」を設置することを目指す。
- 金融庁の組織及び職員の政策立案・実行能力を継続的に向上させていく。そのために、金融行政の目標について、職員が業務との結びつき等の共通理解を深め、身近に感じるための取組を進めるとともに、職員のキャリア形成の組織としての後押し、生成AIの活用の推進やマネジメント力の向上といった職場環境の整備を強力に推進する。